

神奈川の研究者紹介

氏名	赤木 良子 (あかぎ りょうこ)	
現職	湘南工科大学工学部総合デザイン学科准教授 (博士 (工学))	
主な経歴	広島大学大学院工学研究科社会環境システム専攻博士課程後期修了。同大学特任助教、湘南工科大学工学部総合デザイン学科講師を経て現職。	
専攻分野・研究テーマ	建築史・意匠学 (ドイツ近代)	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<p>【論文】赤木良子、杉本俊多著、「ブルーノ・タウト著『都市の解体』に見られる分散的都市像における有機的形態モデルに関する研究」(2014年)、赤木良子、杉本俊多著、「『アルプス建築』第3章に見られるブルーノ・タウトのユートピア的風景のデザイン方法」(2012年)、赤木良子、杉本俊多著、「『アルプス建築』第5章「星の建築」に見られるブルーノ・タウトのユートピア的アイデアと形態群の生成方法」(2012年)、赤木良子、杉本俊多著、「『宇宙建築師』に見るブルーノ・タウトのユートピア的建築形態の生成方法」(2012年)</p>	
神奈川県との関わり	<p>現職のため引っ越して住民として暮らしています。</p> <p>仕事においては現在の所、自治体との関わりは特にありません。</p>	
メッセージ	<p>【現在、関心をもっている領域】</p> <p>建築の歴史、特にブルーノ・タウトについてモダニズム再考の観点から主に研究していますが、デザインに関わっていることもあり、新たな領域として、観光という視点から、歴史を考察したいと考えています。これから観光領域は国の重要な産業となるとわれ、その領域において歴史というものが大事なものになってくると考えているためです。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】</p> <p>上述の趣旨においては、地域との関わりを考えざるを得ません。担当している科目には地域におけるデザインを考えるものもあり、また学生の研究においては神奈川県内の歴史建造物のCG (コンピュータ・グラフィクス) による再現なども行っており、今後地域を対象としたテーマがより一層出てくると思います。その際は神奈川県等の自治体とも連携をとりつつ地域文化について深めていきたいと思っています。</p>	
連絡先	<p>〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25</p> <p>湘南工科大学</p> <p>電話：0466-30-0155</p> <p>E-mail：akagi@md.shonan-it.ac.jp</p>	

神奈川の研究者紹介

氏名	野中 誉子 (のなか たかこ)	
現職	湘南工科大学工学部准教授 (博士 (工学))	
主な経歴	京都工芸繊維大学大学院博士後期課程修了後、トマス・バタ大学、龍谷大学を経て、2011年より湘南工科大学専任講師、2016年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	感性工学、HCI、ユーザビリティ、スポーツ工学、複合材料工学	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等)	<p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Home Network That Can Control Living Condition Adaptive Based on Human Behavior, Proc. IEEE 4th Global Conference on Consumer Electronics, pp. 206-208 (2015). ・ 一般社会から見たシーマンシップ：マリンスポーツ愛好家から見たシーマンシップと湘南工科大学における教育事例, 人間工学 Vol. 51, pp. S46-S47 (2015). ・ Design Strategy Selection of AV Remote UI Based on System Structure and User Level, World Review of Science, Technology and Sustainable Development, vol.7, pp.130-140 (2010) <p>【委員・役員歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015年よりIEEE Japan Council Women in Engineering 役員、2016年より副事務局長 ・ 2015年よりIEEE Consumer Electronics Society Elected Board of Governor、同WIE Chair 	
神奈川県との関わり	神奈川県藤沢市廃棄物減量等推進審議会委員 (2013年度から現在)	
メッセージ	<p>【現在、関心をもっている領域】</p> <p>湘南の地の利を活かした、サーフィンの工学的研究:学内の複数の研究室と連携して、サーフボードの乗り心地や機械的特性の評価に取り組んでいます。</p> <p>工学女子の支援活動:主に学会活動を通して、理工系分野の女性を支援する企画に関わっています。日本の研究者全体に占める女性割合は増加していますが、14.6% (平成26年3月) と諸外国に比べて低い水準です。特に工学部に限って見れば、女子学生の割合は学部で12.9%、大学院で11.2%、大学研究職の女性割合は9.8%に留まっています。工学女子を増やし、モノづくりの現場に新しい視点を入れるお手伝いがしたいです。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】</p> <p>県内の研究機関や高等学校との連携と交流が促進されることを期待しています。</p>	
連絡先	〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学 電話：0466-30-0271 (事務課) E-mail：nonaka@center.shonan-it.ac.jp	